



今年度で2回目の開催

7月29日(金)・30日(土)の2日間で、「釧路地区女子審判研修会」が開催された。参加者は2日間でおよそ30名。ほとんどが女子チーム・釧路リベラルティの選手ではあったが、北海道教育大学釧路校女子サッカー部の学生さんや、釧路公立大学サッカー部のマネージャーをしている学生さん、十勝地区から学びにきたママさんなどの姿もあった。

本研修会は、今年度で2回目。継続して開催し、女性による大会運営の基礎を固めていきたい。

熱い講師陣

講師は、(公財)日本サッカー協会から大岩真由美さん、北海道サッカー協会から勝谷さんと大石さんの2名が来釧した。

大岩さんは、元国際審判1級で女子W杯で主審も務めた経験がある方。また、北海道大谷室蘭女子サッカー部の監督を務め、全国大会に参加した経験もある。参加者にとっては、多方面から刺激的だったことは間違いがない。

初日はまなぼつとで座学

初日29日は、まなぼつと(生涯学習センター)を会場に、座学。審判の役割やルール、シグナルや動きなどについて、講師と参加者が問答しながら和やかに学んだ。また、講演「可能性へのチャレンジ」では、大岩さんのこれまでの審判として、監督としての経験を写真と言葉でわかりやすく伝えてくださった。勇気をもらった参加者が多かったのではないだろうか。

2日目はMOOで、プラクティカル・トレーニング

2日目30日は、会場をMOOに移してプラクティカル・トレーニングを実施。一人一人フラッグを持ち、実際に身体を動かして審判の動きなどについて確認や練習をした。わかっていないようで、実際にやってみるとわからないことが多いのが審判の世界。ルールについても、プレーする側との意識の違いも大きい。

女子サッカーの発展には、女性自らが運営に携わることが不可欠である。まずは審判から！

釧路地区サッカー協会女子委員会活動レポート [Vol.1] 2017/07/29-30

女子審判研修会を開催!!

女子サッカーの普及を祈念し、取り組みや選手、スタッフをクローズアップ!

- 1.図でわかりやすく解説してくださった勝谷さん。
- 2.講演「可能性にチャレンジ」をしてくださった大岩さん。
- 3.プラクティカル・トレーニングをしてくださった大石さん。
- 4.初日の講義後の集合写真。審判委員長村山さん、ありがとうございました(中列左)。

